

県民から寄せられた意見（令和5年3月～令和5年8月）

利用者の意見 6件

項目	意見概要	回答及び対応の概要
① 相談の声（受付日：R5.3.9）		
	<p>以前から思っていたが、相談窓口で話している人の声がうるさくて読書ができない。友人も話し声がうるさいと言っている。図書館なんだから静かに読書をしたい。部屋を作ってそこから相談すべきである。</p> <p>とにかく話し声が耳につく。静かなところだから館全体に良く聞こえる。常識的に考えても図書館で話し声が聞こえるのはおかしいと思う。これが許されるのなら、図書館で他の人も話して良いことになる。</p> <p>とにかく静かにして欲しい。図書館は静かなのが常識だと思う。</p>	<p>相談窓口の声が気になって読書に集中できないとのこととで申し訳ありません。</p> <p>相談者の中には、高齢や障がいにより耳が聞こえにくい方もいらっしゃるため、声が大きくなることもあります。</p> <p>できるだけ小さな声での相談業務に努めますが、声が大きくて気になるようなときは、お近くの職員にお声掛けください。</p> <p>なお、御提案いただきました別室を設けての相談につきましては、スペースがないため困難です。</p> <p>図書館は皆さんに本を読んでもらう場所であると同時に、生活や仕事などで困ったことがある人が相談に来て解決を図るところでもあります。</p> <p>この相談業務は、図書館法によって図書館が行うべき業務として定められているものでもありますので、やむを得ずカウンターで実施することについて御理解いただきますようお願いいたします。</p>
② 話し声（受付日：R5.4.14）		
	<p>先日図書館のデスクで自分のノートパソコンをつないで仕事をしている人が、オンラインなのかずっと小声でしゃべっていて時々大きな声が出ていたため、勉強に集中できず場所を変えた。図書館はしゃべる場所ではなく、静かに本を読んだり、勉強をしたりする場所ではないのか。</p> <p>また、児童コーナーならまだしも、一般コーナーで読み聞かせをしている方がいて結構声が響く。泣き声なら仕方ないが、小声でもずっと読んでいる声が聞こえると集中できない。</p>	<p>閲覧室でオンライン会議のようなことをされていた方の声や、読み聞かせの声が気になるような事案があったとのこととであり、御迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。</p> <p>そのようなことがあれば職員が注意しますので、お近くのカウンター等の職員にお知らせください。</p> <p>なお、御意見のように静かな図書館を希望される方が多くいらっしゃる一方で、会話やリモートワークなどができるスペースの提供を希望する声を多くいただいていたこともあり、近く、2階の小研修室を様々な用途に利用していただけるフリースペースとして開放する予定としておりますので、今後は来館者の要望に沿った利用をしていただきやすくなると思います。</p>
③ 窓口統一（受付日：R5.4.17）		
	<p>絵本と一般の本の貸出し・返却を1か所にしてほしい。</p>	<p>児童書と一般書の貸出しについては、いずれのカウンターで手続していただいても構いませんが、返却については、児童書は児童図書カウンターに、一般書は中央カウンターに返却していただくようお願いしています。</p> <p>これは、別のカウンターに返却があった場合、本来のカウンターに戻って来るまでに、別途人手や時間を要することとなり、次の貸出が遅くなってしまうため、来館者へ御協力をお願いしているものです。</p> <p>つきましては、趣旨を御理解いただき、本の種類ごとのカウンターでの返却について御協力いただきますようお願いいたします。</p>

④ 様式トイレ化 (受付日 : R5. 5. 16)

1階トイレの和式を様式に改善してほしい。

洋式トイレへの変更やウォシュレットの設置に係る要望は他からもいただいています。
当館としてもできれば洋式トイレの増設等を行いたいと考えていますが、予算や工期、設置面積等の問題もありますので、関係機関や事業者とも協議しながら検討していきたいと思えます。

⑤ 企画展提案 (受付日 : R5. 5. 13)

カルロ・ロヴェッリという物理学者が「時間は存在しない」という本を出して話題になっている。(同氏は、物理学者の観点から時間をエントロピーの話として所説している。)

一方大正期に活躍した寺田寅彦という物理学者も「万華鏡」という本の中で時間をエントロピー及び公算の話として捉えようとしている。

(同氏は、夏目漱石の弟子、あるいは友人として知られており、文学と物理学の世界で活躍した人物である。)

「物理学」と「文学」という一見すると相反する学問が実は深いつながりを見せるという点や現在の物理学者カルロ・ロヴェッリと大正期の物理学者寺田寅彦の考え方の類似性は中々面白いと感じるため、両者を取り上げた企画展を開くと科学や文学に関する興味や関心を引けるのではないかと考える。

御提案いただいたように、異なる分野の意外なつながりや異なる時代で活躍した偉人の考え方の類似性を明らかにするような展示は、各分野に対する新たな興味や発見を生み、深い学びにつながるものであり、意義深い催しであると考えます。

県民の皆様には新たな発見や学びの機会を提供するため、御提案を参考にしながら展示等を実施していきたいと考えています。

⑥ 禁止表示 (受付日 : R5. 5. 20)

入口の「禁止」看板は「ご遠慮ください」ぐらいがやさしくて良いのではないかと。

御指摘いただいたのは、入口自動ドアの「当館の本を利用しない方の席の専用を禁止します」という表示のことであると思えます。

これは、当館の資料を利用しない方の席の占有により、利用できていたはずの方の利用ができなくなることを防ぐために表示しているものですが、実効性を確保するため、「ご遠慮ください」ではなく「禁止」とし、限られた席の有効活用を図っています。

このため、「禁止」という厳しい表現になっていますが、御理解いただきますようお願いいたします。

なお、この度試験運用を開始した2階小研修室のフリースペースにおいては、当館の本を利用しない方にも利用していただいているところであり、本格運用を行う際には運用実態に合わせて必要な表記の修正を行いたいと思えます。

⑦ 話し声 2 (受付日 : R5. 7. 24)

親子が普通席で話をしているその声がうるさかった。児童席や 2 階席に移動してほしい。

閲覧室での話し声がうるさかったとのことであり、御迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。
そのような場合には、静かにしていただくよう注意したり、2 階の小研修室をフリースペースとして開放しているときには、そちらを御案内したりすることも可能ですので、お近くのカウンター等の職員にお知らせください。

⑧ まんが (受付日 : R5. 8. 2)

まんがをもう少し増やしてほしい。

県内作家のまんがについては網羅的に収集しています。本棚に置いていないものもありますので、カウンターでお尋ねください。
県外作家のまんがについては、県立図書館の特殊性や求められる役割、県内の市町村立図書館や書店の運営状況等を総合的に勘案し、以下の方針で収集しております。このため、所蔵していないものもありますが、御理解いただきますようお願いいたします。
(1) 特定分野を理解する上で助けとなる漫画あるいは啓発的な内容のものを厳選して収集する。
(2) その他の分野の漫画に関しては、完結後 10 年以上経過したもので、十分評価の定まった作品に限り、厳選して収集する。